

平成30年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 京都府、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 鈴木正和（京都府環境部水環境対策課） TEL 075-414-5209 E-Mail mizukantai@pref.kyoto.lg.jp
代表者氏名 安田将広（京都府環境部水環境対策課長）		
部門名 行政部門	事例名 桂川右岸流域統一マークの作成	

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等挿入して下さい）

■製作目的

桂川右岸流域では、関連市町である京都市、向日市、長岡京市、大山崎町と京都府が一体となって取り組む想いを込めて、全国で初めて流域下水道の「統一マーク」を制作しました。



桂川右岸流域下水道統一マーク

■統一マークの特徴（工夫ポイント）

京都府、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町の特徴をわかりやすくデザイン

- 竹 ① 向日市、長岡京市
- ツツジ ② 京都市、向日市、長岡京市
- 御所車 ③ 京都市
- 天王山 ④ 大山崎町
- 桜 ⑤ 京都府、京都市、向日市、大山崎町



桂川右岸流域下水道統一マーク

その他、京都府や下水（sewage）をあしらっています。

	自治体の花・木	市の鳥	その他
京都府	北山杉、桜、菊、ナデシコ	オオミズナギドリ	地図
京都市	ツツジ、ツバキ、サトザクラ、シダレヤナギ、タカオカエデ、カツラ		御所車
向日市	ヒマワリ、ツツジ、竹、桜		
長岡京市	ツツジ、モミジ	メジロ	竹
大山崎町	桜、松	ウグイス	天王山

エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

- ・流域下水道としての広報を、京都府、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町が情報発信
- ・都道府県の流域下水道と流域の関連市町村が同時にマンホールカードを制作する全国初の試みを実施する際にも全国的にPR

平成30年度「GKP広報大賞」エントリーシート

- ※ それぞれのカードイメージの統一、独自のマンホールカードホルダー
- ・ 流域関連自治体の広報媒体（チラシ、HP）等での利用

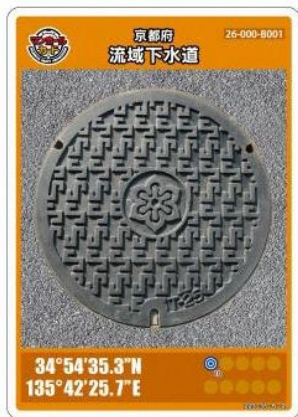
付属資料の提出

あり ・ なし （どちらかに○）

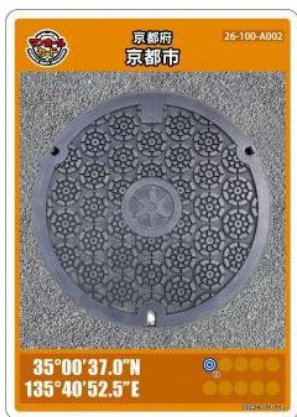
平成30年度「GKP広報大賞」エントリー作品

付属資料1 マンホールカード

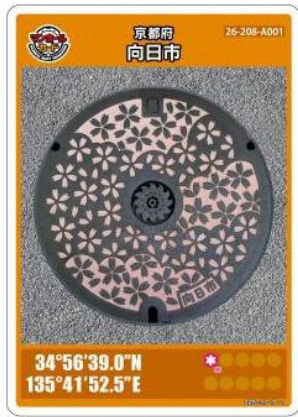
京都府



京都市



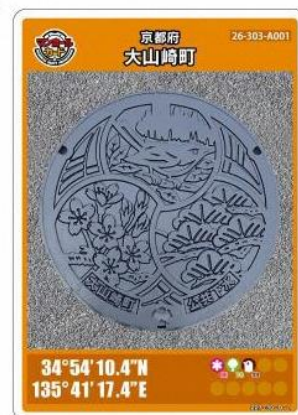
向日市



長岡京市



大山崎町

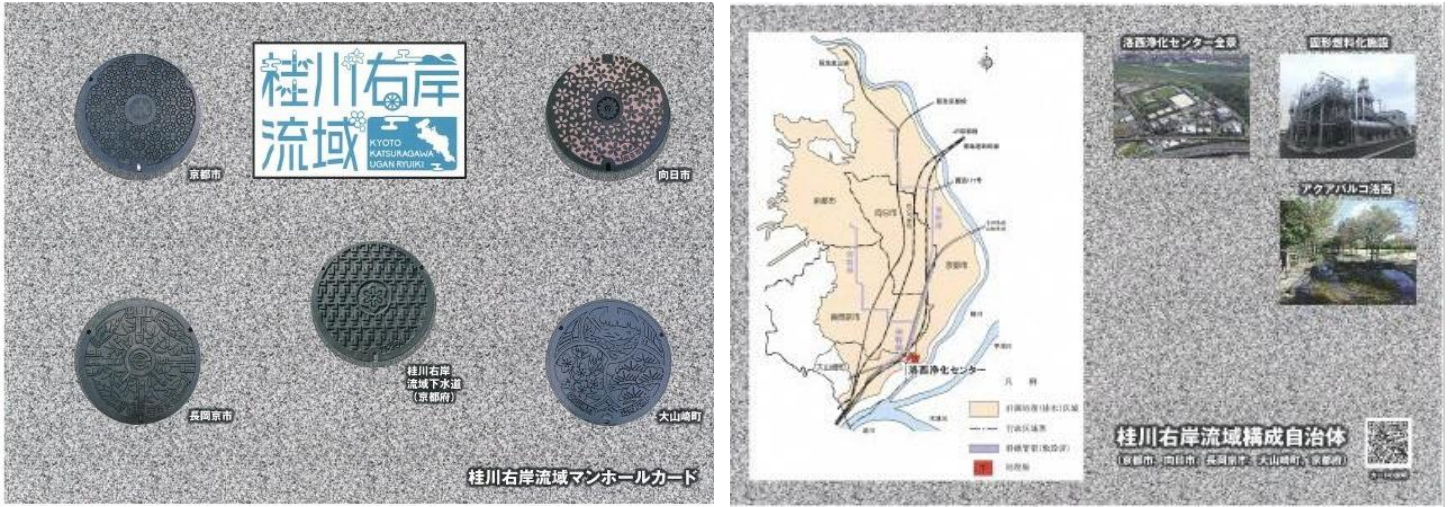


平成30年度「GKP広報大賞」エントリーシート

大山崎町

平成30年度「GKP広報大賞」エントリーシート

付属資料2 独自マンホールカードホルダー



【統一マークについて】

桂川右岸流域では、京都市と高槻市が自治体であるが、流域の都市や町が一つになって取り組むことを、全国で初めて「統一のマーク」を制作しています。また、統一マークのデザインには、それぞれの自治体の特産品である餅（京都市）、ツツジ（高槻市）、向日市、長岡京市、桂（京都市）、向日市、大山崎町、竹（向日市）、天王山（大山崎町）、を盛り込んでいます。

【各自治体の特色】

【京都市】

桂川右岸流域下水道は、都市化の著しい府内流域の3市1町（京都市、長岡京市、向日市、大山崎町）の広域排水処理を促進するために整備された京都市に属する最長の流域下水道であり、昭和47年度に事業着手、昭和54年度に供用を開始し、管線管渠（1.6km、φ1,000）を竣工して完成しています。

本流域下水道の処理センターの処理能力は11,000tと本府流域下水道では最大規模であり、水処理施設の上流空間を有効活用センター公園（アクアハロ川西）として、下水道管理関係者の憩いとして利用するとともに、市民の憩いの場として「高槻市」で再活用するなど、施設を地域の有効活用にも取り組んでいます。平成20年には、下水道局環境美化施設が完成し、0.6haにも大きく広がっています。

※ 下水道局環境美化施設：下水道局から公共施設の連携を推進する取り組み

【京都市】

三年おきに開かれる山崎の祭「京都市」は、高槻府や日本酒など日本の伝統文化を守り、育んできました。その高槻府や即ち生活を支える下水道事業は、1990年（昭和5年）に開始を機に、下水道局の整備局長は、京都市からタイのバンコクまでの距離に相当する、約4,200kmにも及びます。京都府下水道局は、これからも協力の発展を促しを守り、「歴史の都・京都」を未来へとつなげていきます。

【向日市】

向日市は、春の向日神社・桜まつりや夏の竹の節・ふたごの夕べなど四季の行事が市内の街を彩り、その自然環境や文化を伝える下水道事業は、1990年（昭和5年）に開始を機に、昭和48年から事業の整備に着手し、現在、下水道事業が市内で約100%であるとともに、京都府管内排水処理センターの1/3を担っています。計画と連携を図りながら、4月1日1号線が完成し、1号線などの下水道施設の整備を進め、大西による最良の整備を行っています。

【長岡京市】

歴史と文化の街が共存する上質なまち、その発展の道、注と製造のwayアクセスで通勤・通学、大規模、高度成長にもあり交通の利便性に優れています。子育て環境も充実し、都会的な生活だけでなく、山の豊かな自然や足下を長岡京の豊かな歴史に感じ、どこか懐かしさを感じさせます。暮らしやすさを追求することからは、昭和49年から桂川右岸流域下水道局の共同下水道を供用開始し、人口増加率7%を誇ります。

【大山崎町】

大山崎町の出水下水道は、昭和49年より事業に着手してから約20年をすぎ、平成2年には99.0%、平成16年には普及率99.9%に達し、全国的にも早く、高い普及率となっております。管内にはほとんどの出水下水道マンホールの蓋には市の花鳥「さくら」のイラストが描かれており、また、天王山山頂にある安永神社には約20年前には「天王山山頂」のロゴマークが描かれたマンホールを3箇所設置しております。

デザインの由来

山崎市 127004

デザインの由来

山崎市 127004

デザインの由来

山崎市 127004

デザインの由来

山崎市 127004

デザインの由来

山崎市 127004

デザインの由来

山崎市 127004

大山崎町 高槻市 長岡京市